

# 福 2015 助

師走

看護学生通信 12月号

ホームページは“みりよくないろ”で検索!

みさと健和病院・柳原病院・柳原リハビリテーション病院

発行：医療法人財団健和会（東京・埼玉）看護学生室

〒341-8555 埼玉県三郷市鷹野 4-494-1

TEL 048-955-9548・FAX 048-955-9549（直通）

ホームページ <http://www.kenwa-kango.com>

看護学生のみなさん、こんにちは！クリスマス!!（ちょっと早いですが、笑）



冬休みの予定はお決まりですか??来年度卒年となるみなさんは病院さがしも気になる時期かと思いますが…。

ぜひ、インターシップにおいて下さい!! “やっと、学校もお休み!!” 々々なところ、ですよ～。ま、そんな時間のあるときにこそ学校や実習といった場をはなれて、ちょっと新鮮な&目新しい気持ちで。笑 私たちの病院を訪れてみてはいかがでしょうか。タイミングが良ければ、クリスマスや年末年始の行事にご一緒できるかもしれません!!

患者さんの笑顔にふれながらのインターシップ、なかなか良いと思います!

## きらり★看護 ～きらきら輝く看護の醍醐味～

72歳・男性・肝臓の患者さん 8月に腰痛強く体動困難にて入院し、9月に退院。退院後、ご本人からは「このまま在宅で過ごしたい。自宅ではかゆいところに手が届く」と希望があった。透析もしっかりやりたいと希望。奥さんは病院での看取りを希望された。急激に悪化し自宅での看取りになる可能性もあり、今後透析困難となれば透析を差し控えることになることと医師から説明し、初めての事前指示書（※）を作成した。透析中は痙攣発作・血圧低下・発熱・意識レベルの低下あったが本人の希望に沿って最期まで、外来透析で対応した。9月下旬、透析中に血圧低下し帰宅は無理と判断され入院となり、その夜死亡退院となった。自分が最期をどうしたいかを書面を残せてよかった。本人の最期まで外来で透析続けたい気持ちを尊重できた。

（みさと健和クリニック・透析センター）

（※）事前指示書 医療倫理の四原則である自立尊重を終末期の場面で表明する手段。自分の意思の有無・病気の状況に合わせて自分がどう生き続けるかについて医療従事者・家族をはじめとし関わる方に先に伝え、医療行為を選ぶときの中心に位置づけられる、自分がどんな最期を迎えたいか、最期までどう生きたいかを記載する書類のこと。

## 「インターシップ」でお待ちしています!

たとえば…。こんな感じで!



AM：みさと健和病院（内科）  
PM：みさと南訪問看護ステーション

AM：みさと健和病院  
（外科）

PM：みさと健和クリニック  
（透析センター）



他にも!柳原病院（外科・内科混合病棟）&訪問看護…など!

先輩ナースと昼食交流もできますよ♪

- 複数ヶ所参加できます。
  - 半日～数日単位で受けつけています。
  - 原則平日実施しております。
  - 交通費半額支給します!（上限2万円）
  - 遠方のかた、寮への宿泊が可能です!
  - ※1年生から参加可能です。
- お気軽にお問い合わせ下さいね。

みさと健和病院・柳原病院・柳原リハビリテーション病院  
訪問看護ステーション・地域包括支援センター・クリニック  
など、実施事業所多数あります!



お申し込み & お問い合わせ

Email : [k-gakusei@kenwa.or.jp](mailto:k-gakusei@kenwa.or.jp)

TEL : 048-955-9548

またはホームページよりどうぞ!

# 健和会の“みりょく”をご紹介!! プリセプター-謝恩会

早いもので、今年の4月に入職した1年生も8ヶ月が過ぎようとしています。新生児であればハイハイがはじまったり、歯が生えてきたり…といった頃でしょうか。新人ナースのみなさん、日勤・夜勤の一人立ちとstep up!! たくさんのごことを吸収して、一人前のナースにさらに近づいているようです!

これまでお世話になったプリセプターさんに感謝の思いを込めて♥謝恩会をひらきました。感謝する方もされる方も“みんなでがんばってきたね!!”と感慨深げです。“これからもよろしくお願いします♪”さらに一歩、もう一歩と前進していきます!!



## 看護奨学生企画『ナース・エッグ・フェスティバル』やったよ♪

11月22日(日)、民医連の関東ブロックの法人の看護奨学生が集まった学生企画が開催されました!

その名も、ナース・エッグ・フェスティバル(Nurse Egg Festival) 200人ほどの学生さん・職員の参加で会場いっぱいとなりました。半年前から実行委員会の学生さんたちが準備してきました。

学生さんたちが話し合い、毎回テーマが決められます。今年のテーマは“貧困”について。「What's Japanese Problem~貧困から見える現状~」となりました。

記念講演は某テレビ局の番組チーフディレクターの方の講演です。ワーキングプア・老人漂流社会といった言葉で世間一般にも広く知れ渡れ、あらゆる場面で加えられているシズを手がけてこられた方です。格差・貧困問題は今、日本の大きな社会問題です。そして深刻な実態も私たちの身近に多くあります。子どもの貧困など、一見わかりにくいようにも見えますが、放置できない根深い問題です。取材から見てきた貧困についてお話して頂きました。医療者を目指すものとして、私たちに何ができるか真剣に考えていきたいものです。

他にも、法人ごとの奨学生の学習発表やグループ対抗のゲームでレクリエーションを行ないました。

いろいろな学校の学生さんたちが交流するので話題は豊富です。学校生活や実習のこと、最近の楽しかったことなど、いろいろ!みんなとおしゃべりしているだけでも楽しくなっちゃうようですね♪

“貧困”って日本にもあるんだ、って知った…。

生活保護を受けずに「人に迷惑をかけたくない」気持ちはわかるけど、どんどん社会から遠ざかってしまうのは心配!

子どもの虐待が増える気がしてたけど、親の経済状況がこんなにも関係しているなんて…。



“老後破産”!?



“助けて”って言えない…。



こんなはずじゃなかった??

# 奨学生 募集中!!

【貸与】1~5万円/月 【貸付】1~5万円/月 ※合計月々10万円まで給付可

健和会には現在27名の看護奨学生が毎月さまざまな活動を通して健和会の医療や看護について学び、交流を深めています! あなたも健和会の奨学生になりませんか?

